



時間帯の設定

時間帯を追加、更新、コピー、または削除するには、次のトピックを参照してください。

- 「[時間帯の設定値](#)」(P.38-1)
- 「[関連項目](#)」(P.38-3)

時間帯の設定値

Cisco Unified Communications Manager の管理ページでは、[コールルーティング (Call Routing)] > [コントロールのクラス (Class of Control)] > [時間帯 (Time Period)] メニュー パスを使用して、時間帯を設定します。

時間帯は、開始時刻と終了時刻によって定義される時間範囲で構成されます。また、週の曜日や毎年の特定日のいずれの繰り返し間隔も指定できます。時間帯を定義した後、時間帯をタイム スケジュールに関連付けます。特定の時間帯を複数のタイム スケジュールに関連付けることができます。

次に、time-of-day コール ルーティングをセットアップするパーティションにタイム スケジュールを関連付けます。時間帯とタイム スケジュールの詳細については、『Cisco Unified Communications Manager システム ガイド』の「[Time-of-Day ルーティング](#)」を参照してください。

時間帯の削除のヒント

タイム スケジュールが使用している時間帯は削除できません。時間帯を使用しているタイム スケジュールなどの項目を検索するには、[時間帯の設定 (Time Period Configuration)] ウィンドウにある [関連リンク (Related Links)] ドロップダウン リスト ボックスから [依存関係レコード (Dependency Records)] を選択します。依存関係レコードがシステムで使用可能になっていない場合、[依存関係レコード要約 (Dependency Records Summary)] ウィンドウにメッセージが表示されます。依存関係レコードの詳細については、「[依存関係レコードへのアクセス](#)」(P.A-2) を参照してください。使用中の時間帯を削除しようとすると、Cisco Unified Communications Manager からエラー メッセージが表示されます。現在使用されている時間帯を削除する場合は、事前に、次の作業のどちらか一方または両方を実行しておく必要があります。

- 削除する時間帯を使用しているタイム スケジュールすべてに、別の時間帯を割り当てます。「[タイム スケジュールの設定値](#)」(P.39-1) を参照してください。
- 削除する時間帯を使用しているタイム スケジュールを削除します。「[タイム スケジュールの削除のヒント](#)」(P.39-1) を参照してください。

GUI の使用方法

Cisco Unified Communications Manager の管理の Graphical User Interface (GUI; グラフィカル ユーザ インターフェイス) を使用してレコードを検索、削除、設定、またはコピーする方法については、「Cisco Unified Communications Manager の管理アプリケーションでの操作」(P.1-13) およびそのサブセクションを参照してください。GUI の使用方法とボタンおよびアイコンの機能の詳細が説明されています。

設定値表

表 38-1 では、時間帯の設定値について説明します。関連する手順については、「関連項目」(P.38-3) を参照してください。

表 38-1 時間帯の設定値

フィールド	説明
[時間帯情報 (Time Period Information)]	
[名前 (Name)]	<p>[名前 (Name)] フィールドに名前を入力します。この名前には、最長 50 文字の英数字を指定することができ、スペース、ピリオド (.), ハイフン (-)、およびアンダースコア (_) を任意に組み合わせて使用することが可能です。各時間帯名が、そのプランに固有の名前であることを確認してください。</p> <p>(注) 時間帯には、内容を表す簡潔な名前を使用してください。通常、hours_or_days の形式が、内容を簡潔に表し、時間帯をすばやくかつ簡単に識別できる方式です。たとえば、「office_M_to_F」は、オフィスでの月曜日から金曜日の業務時間の時間帯を示します。</p> <p>Cisco Unified Communications Manager には、[常に (All the time)] という時間帯が用意されています。この特殊なシステム時間帯は 24 時間に相当し、エンドユーザに公開されています。この時間帯の削除はできませんが、コピーは可能です。</p>
[説明 (Description)]	この時間帯の説明を入力します。
[開始時刻 (Time Of Day Start)]	<p>ドロップダウン リスト ボックスから、この時間帯が開始する時刻を選択します。リストされている使用可能な開始時刻は、24 時間の 15 分間隔で構成されています。</p> <p>デフォルト値は [就業時間なし (No Office Hours)] です。</p> <p>(注) 深夜に時間帯を開始するには、00:00:00 値を選択します。</p>
[終了時刻 (Time of Day End)]	<p>ドロップダウン リスト ボックスから、この時間帯が終了する時刻を選択します。リストされている使用可能な終了時刻は、24 時間の 15 分間隔で構成されています。</p> <p>デフォルト値は [就業時間なし (No Office Hours)] です。</p> <p>(注) [終了時刻 (Time of Day End)] には、[開始時刻 (Time Of Day Start)] で選択する時刻よりも遅い時刻を選択する必要があります。</p> <p>(注) 深夜に時間帯を終了するには、24:00 値を選択します。</p>

表 38-1 時間帯の設定値 (続き)

フィールド	説明
[繰り返し設定 (Repeat Every)]	<p>次のいずれかのオプション ボタンをクリックします。</p> <ul style="list-style-type: none"> [毎週 (Week from)] : [毎週 (Week from)] オプション ボタンをクリックする場合は、[毎週 (Week from)] および [から (through)] の横にあるドロップダウン リスト ボックスを使用して、この時間帯を適用する曜日を選択します。 <p>例 : 月曜日から金曜日に適用する時間帯を定義するには、[毎週 (Week from)] の値に [月 (曜日) (Mon)]、[から (through)] の値に [金 (曜日) (Fri)] を選択します。</p> <p>土曜日だけに適用する時間帯を定義するには、[毎週 (Week from)] の値に [土 (曜日) (Sat)]、[から (through)] の値に [土 (曜日) (Sat)] を選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> [毎年 (Year on)] : [毎年 (Year on)] オプション ボタンをクリックする場合は、[毎年 (Year on)] と [終了日時 (until)] の横にあるドロップダウン リスト ボックスを使用して、1 年のうちでこの時間帯を適用する月と日を選択します。 <p>例 : この時間帯を適用する日として 1 月 15 日から 3 月 15 日を選択するには、[毎年 (Year on)] の値に [1 月 (Jan)] と [15]、[終了日時 (until)] の値に [3 月 (Mar)] と [15] を選択します。</p> <p>この時間帯を適用する日として 1 月 1 日だけを指定するには、[毎年 (Year on)] の値に [1 月 (Jan)] と [1]、[終了日時 (until)] の値に [1 月 (Jan)] と [1] を選択します。</p>
[繰り返しをクリア (Clear Repeat)]	このボタンをクリックすると、変更中の時間帯から、[繰り返し設定 (Repeat Every)] の選択値がクリアされます。

追加情報

「関連項目」(P.38-3) を参照してください。

関連項目

- 「時間帯の設定」(P.38-1)
- 「時間帯の設定値」(P.38-1)
- 『Cisco Unified Communications Manager システム ガイド』の「Time-of-Day ルーティング」

